

Survival Wedding

【婚活特集】サバイバル・ウェディング

第三回「祝!? ついに三十路突入!!」

ついに迎えた30歳の誕生日…本当だったらこの日、私はみんなに祝福されてメデタく結婚するはずだったのに!! 現実には、婚約破棄され独身のまま三十路に突入…心の傷が癒えないまま、ただいま婚活の真っ最中。29歳と30歳。たった一つしか違わないのに、周囲の反応も全然違うし気持ち的にもなんとなくダメージがあるのはなんだろう? でも…歳を重ねるってそんなにネガティブなことばかりなの? ここが私の新たなスタートラインに…なる!?

ライター／S イラスト／439



riz編集部・ライターS
1988年福岡県生まれ。7年間週刊誌の編集部に在籍し、グルメ記事を担当していたが婚約を機に寿退社。しかし婚約破棄をされたために、ライターとして復職。結婚を目指して休当たりで婚活コラムを書く羽目になる。

30歳は幸せのゴール!…
…のはずだった

大好きな彼氏と30歳の誕生日に結婚。これが、私が描いていた未来予想図だった。そう、30歳の誕生日っていうのは私にとって「幸せへのゴール」の象徴だったのだ。しかし、予想図はあくまでも「予想」でしかなくて…まさかの婚約破棄。三十路の誕生日を目前に、私のテンションは下がrippばなし。人生で大切な記念日になるはずの日を、こんなに恨めしい気持ちで迎えるなんて思ってもみなかった。

オンナは常にハンターであれ

確かに結婚できる方法があると言われている、誰にもすると思いで飛びついた。そんな方法があるのなら、ちょっとぐらい高くてもお金を出すから教えて欲しい。そんな魔法みたいな裏ワザ、本当にあるの!? 食い気味で尋ねてみたら、その方法はいたってシンプルだった。それは「常に男性に囲まれておくこと」…マジか。

出会いを増やして、複数の男性に言い寄られるぐらいの環境を作っておくこと。そうすれば自ずと自分にも自信が持てるし、チャンスも増えるっていうんだけど…私は別に大勢にモテたいワケじゃない。本当に好きな人と、運命を感じる人と出会いたいという、ただそれだけのなに。でも、そんな人とどうやって出会うのかって冷静に考えてみると…やっぱり一人や

二人に出会ったところで叶うものじゃない。本当に自分に合う男性を見つけたのなら、「出会いの数」を増やさなければならぬのだ。すれ違った男性を全員自分に惚れさせるぐらいのつもりでいればいいって言われたけど…そんなのムリ。できるならとくにくやっって。

怒涛の「出会い」ローラー作戦

下手な鉄砲、数打ちや当たるってワケじゃないけれど。30歳の誕生日までの1か月、つまり20代最後の1か月を『出会いの修行期間』と決めて、とにかく男子がいるイベントに積極的に参加した。

「傷心を引きずってる」とか、「運命の人待ち」とかそんな甘っちょろいこと言つてられない。その話をしたら同期（女子・独身）がノリノリで毎週、合コンを開いてくれて。

これぞまさに「出会いのローラー作戦」! 必死になつてあらゆる男子と出会ったけど…「これ」って思える出会いはゼロ。私、このまま独身で三十路になって、気がついたら40になり、50になっていくのかな…ああ…一度30代に突入したら、もうどうやっても20代に戻ることはできないんだもんなあ。なんとしても29歳のうちに運命の出会いを成し遂げたたい!…と思つていたんだけど…

人生最悪の誕生日

誕生日の1週間前、大学の同級生（男子・独身）に合コンを頼んだら、

恋愛に年齢はない。
それはいつでも生まれる。
パスカル



そこに最近「ちょっといいな」と思っていた人が登場。仕事で出会った「超絶さわやかスーパードイメン王子様」（しかも年下!）。こんなところで再会するなんて…これこそ運命の出会い!? って内心、大興奮。

このチャンス、絶対に逃してしまるもんかと、うまく隣の席をゲット。でも、仕事以外の場になつたら何をトークしていいかわからない。話しかけるキッカケをつくるうと、「必殺!! ミントタブレット大作戦」をやってみたら、中身をぶちまけちゃって大失敗!! 二人とも思わずフリーズ…しかも試練はコレだけにとどまらなかった。

実は以前、年齢を聞かれて、咄嗟に「27歳」と言ってしまった私。だからこの「超絶さわやかスーパードイメン王子様」は私のことを27歳だと思ってる。合コンの最中ずっと、それがバレないか気が気じゃなかった。なんとか乗り切った…と思ったのに…最後の最後、なんとサプライズでバースデーケーキが登場! プレートにはでかでかと「独身三十路おめでとう」の文字…。大々的に年齢をバラされて、穴があいたら入りたいとは、そのままブラジルまで行っちゃいたいぐらい恥ずかしかった。どなたか深めのやつ、掘ってください!!

誕生日当日も、まさに悪夢の1日。飲みにつきあってくれる同僚もいないし、仕事でもミスをして、めっちゃくちゃ凹んで、気持ちが弱っているところに元彼から電話。彼の声が心に沁みちゃったんだよね。うっかり食事して、なんだかんだと自分に言い訳しながら、誘われるまま彼の家に行つてみたら、新しい彼女に遭遇…という史上最悪のバースデー!! ものすごく惨めな気持ちになつて、家に帰って一人で泣いてたら（最高にブサイクな顔で）、誕生日なんて終わった。誕生日を一人で過ごすことに耐えられなくて、寂しさに流されて元彼に頼った罰が当たったのだ…

30歳は幸せへのスタート
…にする!

誕生日当日は最悪な1日だったけど…30歳ってそんなに悲観的になること? 仕事もプライベートも、「大人になったからこそ」自由に楽しめるっていうステージが「三十路」なんじゃないかな。今の私は、そんなステージから程遠いけど…。そういう風に三十路を楽しみたかったら、歳を重ねたことを嘆いてばかりじゃダメなはず。自分に自信が持てるように、人生を充実させなくちゃ。だって、「男子はみんな若い子が好き」って誰が決めたの? 恋に年齢は関係ない!…はず! そう信じてる。新しい恋を見つけるためにも、自分を安売りするのではなく、自信を持って「大人のオンナ」として振る舞えるように成長していきたい。だって、三十路は幸せへのスタートラインなのだから。